

平成 26 年 5 月 16 日

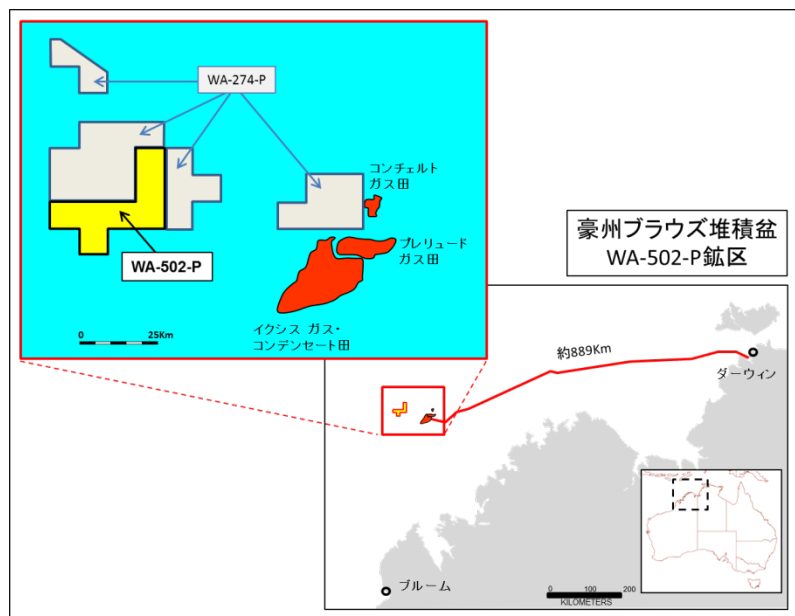
各 位

会社名	国際石油開発帝石株式会社
代表者名	代表取締役社長 北村 俊昭 (コード番号 1605 東証第一部)
問合せ先	広報・IR エグゼクティブ・マネージャー 橋高 公久
電話番号	03-5572-0233

オーストラリア 西豪州沖合 WA-502-P 鉱区権益 (探鉱鉱区) の落札について

国際石油開発帝石株式会社 (以下、当社) は、当社子会社の INPEX Browse E&P Pty Ltd (以下、同社) を通じて、このたび実施された 2013 年オーストラリア探鉱鉱区公開入札において、オーストラリア西豪州沖合に位置する WA-502-P 鉱区 (探鉱鉱区。以下、本鉱区) をオーストラリアのサントス社とともに落札しましたので、お知らせいたします。本鉱区の権益比率は、同社が 40%、オペレーターのサントス社が 60% を保有します。

本鉱区は、当社グループ会社がオペレーターとして開発作業を推進しているイクシスガス・コンデンセート田 (イクシス LNG プロジェクト) の周辺に位置し、本鉱区の取得により同ガス・コンデンセート田の周辺に位置する同社及び当社子会社保有探鉱鉱区は 10 鉱区となります。



WA-502-P 鉱区ロケーション

本鉱区は、西豪州ブルーム市の北北東約475キロの沖合に位置し、鉱区面積は約581km²、水深は400~500mです。本鉱区の北西隣には、2012年に実施した試掘井 (クラウン1号井) によりガスの胚胎を確認したWA-274-P鉱区^(※)が位置し、本鉱区南東にはイクシスガス・コンデンセート

国際石油開発帝石株式会社

INPEX CORPORATION

田や当社子会社がシェル社とともにフローティングLNG方式により開発作業を行うプレリュードガス田やコンチェルトガス田（プレリュードFLNGプロジェクト）が位置するなど、本鉱区周辺では有数のガス田等が発見・開発されており、本鉱区は有望なエリアと期待されます。

(※) 同社権益比率20%、サントス社（オペレーター）同30%、シェブロン社同50%

本鉱区への参画は、当社の中核的事業地域であるオセアニア地域での取り組みを強化するものであり、またイクシスLNGプロジェクトの将来価値の拡大を図るため、周辺鉱区で積極的に探鉱活動を推進する当社の方針に沿うものです。

当社は今後とも、オーストラリアをはじめ、アジア・オセアニア地域での事業展開に積極的に取り組んで参ります。

なお、本件による当社連結業績への影響は軽微であります。

以上